

THE NEW VALUE FRONTIER



第65期中間報告書

2018年4月1日から2018年9月30日まで

証券コード 6971

京セラ株式会社

社 是
敬天愛人

〈敬天愛人〉

常に公明正大 謙虚な心で 仕事にあたり
天を敬い 人を愛し 仕事を愛し 会社を愛し 国を愛する心

経営理念

全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、
人類、社会の進歩発展に貢献すること。

経営思想

社会との共生。世界との共生。自然との共生。
共に生きる (LIVING TOGETHER) ことをすべての
企業活動の基本に置き、豊かな調和をめざす。



名誉会長

稻盛和夫

心をベースに経営する

京セラは、資金も信用も実績もない小さな町工場から出発しました。頼れるものは、なけなしの技術と信じあえる仲間だけでした。会社の発展のために一人ひとりが精一杯努力する、経営者も命をかけてみんなの信頼にこたえる、働く仲間のそのような心信じ、私利私欲のためではない、社員みんなが本当にこの会社で働いてよかったと思う、すばらしい会社でありたいと考えてやってきたのが京セラの経営です。

人の心はうつろいやすく変わりやすいものといわれますが、また同時にこれほど強固なものもないのです。その強い心のつながりをベースにしてきた経営、ここに京セラの原点があります。



代表取締役会長

山口 悟郎



代表取締役社長

谷本 秀夫

平素は京セラグループに対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

2018年9月30日をもちまして終了しました第65期中間期(当中間期)の業績及び当社の事業内容につきましてご報告いたしますので、ご高覧いただきますようお願い申しあげます。

売上高は、中間期としては2期連続で過去最高を更新しました。産業機械や自動車など、好調な市場での旺盛な部品需要を着実に捉えるとともに、前期に実施したM&Aが寄与しました。利益は、増収効果に加え、各部門での原価低減等により増加し、税引前利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益については、中間期として過去最高を更新することができました。

下期も引き続き業績拡大に努め、通期においても2期連続の過去最高売上高の更新を目指すとともに、一層の収益性向上を図ります。

なお、当中間期の配当金については、当社の配当方針に鑑み、前年中間期と同額の60円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、京セラグループに対して引き続き一層のご支援、ご高配を賜りますようお願い申しあげます。



第67期(2021年3月期)売上高2兆円の達成を目指し、成長投資や生産性倍増の取り組みを進める

を着実に捉え、業績に繋がられるよう次の成長の準備を常に進めています。京セラグループにはいち早く積極投資を行う事業もあれば、採算改善に向けて構造改革を進めている事業もあります。

今後も迅速な経営判断を行い、さらに売上、利益の更新を目指したいと思います。

Q 当中間期には、10年ぶりに自社株買いを実施しましたね

A 今後の事業展開での活用及び株主還元として実施しました

本年4月27日から5月30日にかけて約400億円分の自己株式を取得しました。

これにより、当中間期末で1,586万株を金庫株として保有しており、将来の株式交換によるM&A等に活用したいと考えています。

また、自社株買いは株主還元の側面もあるため、今後も実施について検討してまいります。

Q 中間期は売上や税引前利益で過去最高を更新しましたが

A スピードアップ経営でさらに更新を目指します

前期に実施したM&Aや増産が寄与し、産業機械や自動車、スマートフォン市場向けのファインセラミック部品や電子部品、機械工具が増収増益を牽引しました。成長ドライバーは期によって異なりますが、事業機会

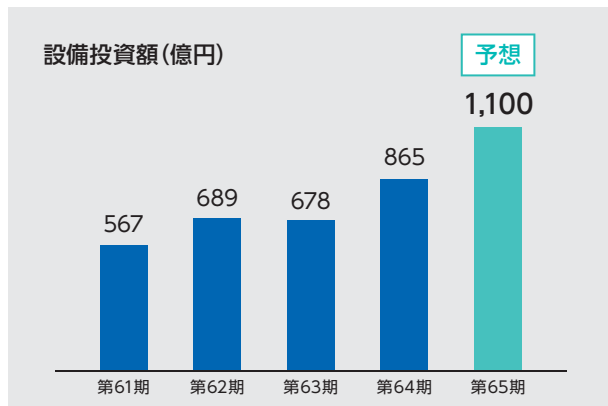
Q 「既存事業の拡大」と「新規事業の創出」への取り組みについて進捗を教えてください

A 成長投資と社内外のシナジー追求に取り組んでいます

昨年、社長就任後に目標として掲げた「第67期 売上高2兆円」を達成するには、年率約10%の成長が必要です。この目標達成に向けて、既存事業において積極的な設備投資を行っています。

IoT (Internet of Things) や5G (第5世代移動通信システム)、ADAS (先進運転支援システム) 等の事業機会を着実に捉えるため、需要の伸びが見込まれる製品の生産能力の増強を進めています。

今期の設備投資額は過去最高となる1,100億円を計画しています。



新規事業の創出に向けては研究開発体制を強化しています。マーケットニーズを的確に捉え、開発のスピードアップを図るために、IoTやADAS、医療・ヘルスケア等の重点テーマ毎に部門横断的な組織を作り、技術の集結に取り組んでいます。また、社外との協業も進め、新製品やサービスの創出に努めています。さらに、モノづくりの面では、生産性の倍増を目指し、各部門でAI (人工知能) やロボットの活用、自動化等さまざまな改革を進めています。例えば、グループ会社の京セラドキュメントソリューションズ株式会社では、トナーや機器の基幹部品を製造する工場の自動化を順次進めており、自動化を実現した生産ラインでは、従来に比べ約10分の1の人員数で対応できるようになりました。

Q さらなる成長に向けて取り組むことは何ですか

A 京セラのさまざまな技術で人と社会にやさしい未来をサポートします

当社は、部品から機器、サービスまで豊富な経営資源を有しています。技術の応用展開や融合により、新たな価値を創造し、社会に貢献することが京セラグループの使命と考えています。

皆様の暮らしを一層豊かにできる製品やサービスの開発に今後も努めてまいります。

京セラは、より快適な暮らしの実現に向けて、さまざまな市場で製品やサービス、技術の開発に取り組んでいます。

IoT
5G



情報通信

ADAS
電装化



自動車

自家消費
仮想発電所



環境・エネルギー

再生医療
予防医療

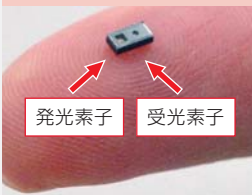


医療・ヘルスケア

医療・ヘルスケア：センシングデバイス技術で人々の健康維持に貢献

皮下組織の血流量を測るセンサを開発

3.2×1.6×0.9mmの
小型センサデバイス



- ・小型、低消費電力を実現
- ・携帯機器やウェアラブル端末などに搭載可能

血流量センサ搭載
ヒアラブル機器

音楽を聴きながら血流量
や心拍数などを計測

モックアップ



NEWS

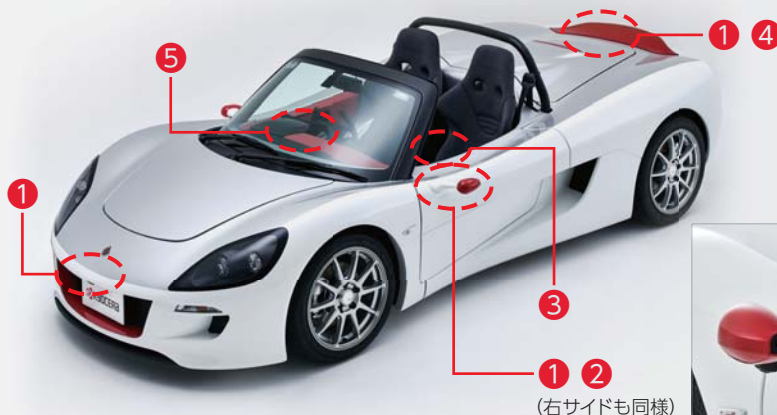
「DAKAR RALLY 2018」
ホンダ・レーシングチームの
テクニカルスポンサーとして参加

ウェアラブルデバイスを活用し、メカニックの
健康維持をサポート。



自動車：ADASなどを支える先進技術

京セラグループの多彩な技術を搭載したコンセプトカーを製作
「クルマの未来」を提案します



(右サイドも同様)

主なデバイス

- 1 サラウンドビューカメラ
- 2 サイドeミラーカメラ
- 3 サイドeミラーディスプレイ
- 4 ルームeミラーカメラ
- 5 センターインフォメーションディスプレイ (CID)



サイドeミラーカメラ



サイドeミラーディスプレイ

カメラ

独自の光学設計を駆使した高精細・高感度のデジタルメガピクセルカメラ。運転の安心安全をサポート。



ポイント AI認識 車載カメラモジュール

- ・AI (ディープラーニング) による学習
- ・人の姿勢変化や隠れも安定認識
- ・フリースペース検知による測距機能に対応



ディスプレイ

表現力が高く、高精細、広視野角のディスプレイ。

CIDには独自の触覚伝達技術「HAPTIVITY®」*を搭載。

操作時のクリック感で安全と安心を提供。



*「HAPTIVITY」は京セラ株式会社の登録商標です

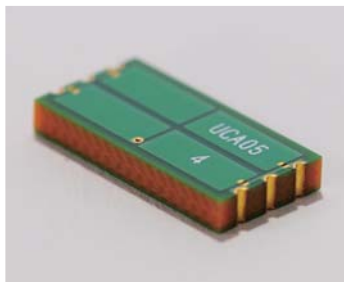
アジア最大級の最先端IT・エレクトロニクス総合展 CEATEC JAPAN 2018で総務大臣賞を受賞



京セラは、独自技術により金属や水の近くでも電波強度を維持でき、かつ小型・薄型化*を実現した新しいアンテナ「Amcenna」(アムセナ)の開発に成功しました。

Amcennaは、工場の機械設備やインフラ、農業のほか、さまざまな分野におけるIoTの拡大を後押しする画期的なキーテクノロジーとして評価され、CEATEC AWARD 2018において総務大臣賞を受賞しました。

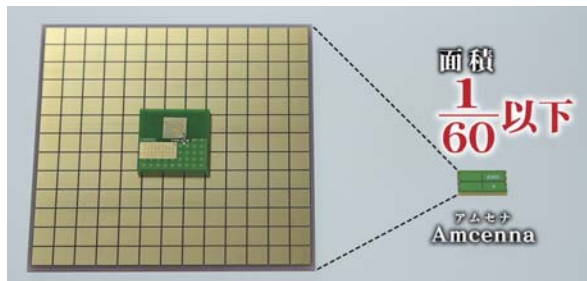
*2.4GHz帯において、縦7.0mm×横13.6mm×高さ1.9mm



小型・薄型アンテナAmcenna



Amcennaを搭載したセンサモジュール



※AMC(人工磁気壁)を用いたアンテナ(京セラ試作)とAmcennaの比較

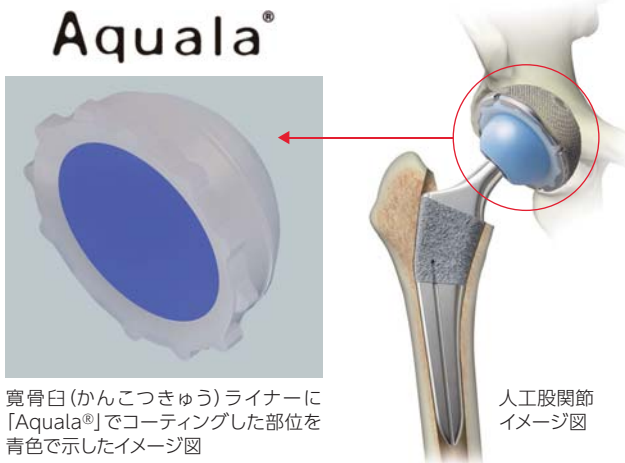
「平成30年度全国発明表彰」の 経済産業大臣賞を受賞

京セラは東京大学と共同開発した「Aquala®」*1(アクアラ:人工股関節の長寿命化が期待される表面処理技術)の発明に関し、全国発明表彰の経済産業大臣賞を受賞しました。

「Aquala®」は、模擬歩行負荷試験において摩耗粉の産生が従来品より約99%減少*2することが確認されており、耐用年数の延伸が期待されています。

*1「Aquala」は京セラ株式会社の登録商標です。

*2 15年分以上に相当する歩行負荷試験での当社従来製品との比較。



寛骨臼(かんこつぎゅう)ライナーに「Aquala®」でコーティングした部位を青色で示したイメージ図

人工股関節イメージ図

京セラが展開する多彩な電動工具

プロ用からDIY用、初心者用まで幅広いリョービブランドの電動工具を始め、ガーデン機器や清掃機器も各種取り揃えています。



電動工具



ガーデン機器



清掃機器



※京セラインダストリアルツールズ株式会社が、リョービ株式会社の電動工具事業を承継しました。

新拠点のご紹介

横浜みなとみらい21地区にソフトウェア関連の研究所を新設

みなとみらいリサーチセンター（仮称）

ソフトウェア関連の
開発力強化

オープンイノベーションの
さらなる推進

- 横浜事業所、横浜中山事業所、東京事業所の研究開発拠点を集約
- IoTやAI、ロボティクス、ADASなどの進展に対し、ソフトウェアやシステムの研究開発体制のさらなる強化を図る
- 2019年5月下旬以降、順次稼働開始予定



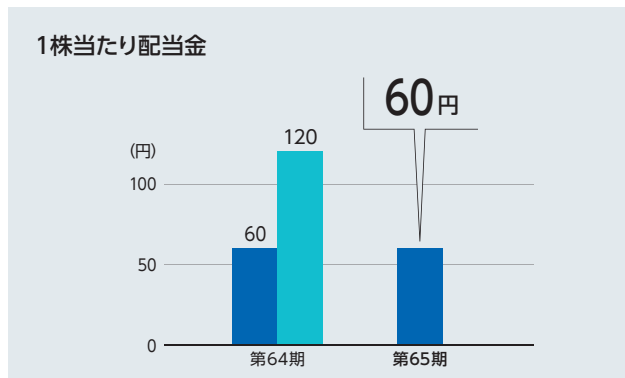
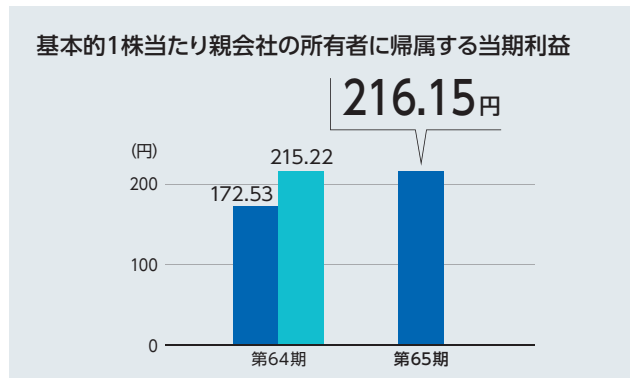
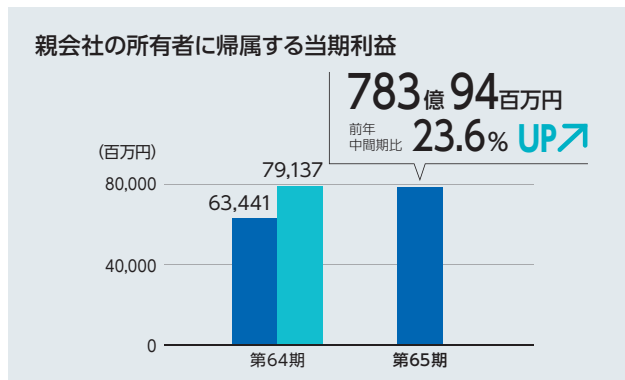
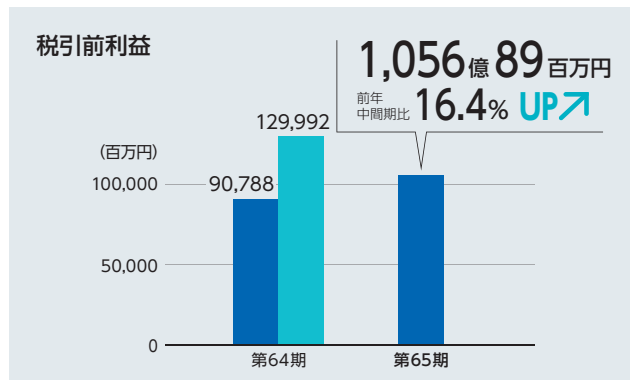
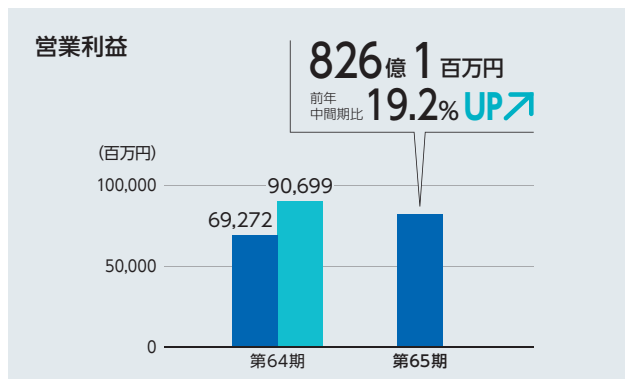
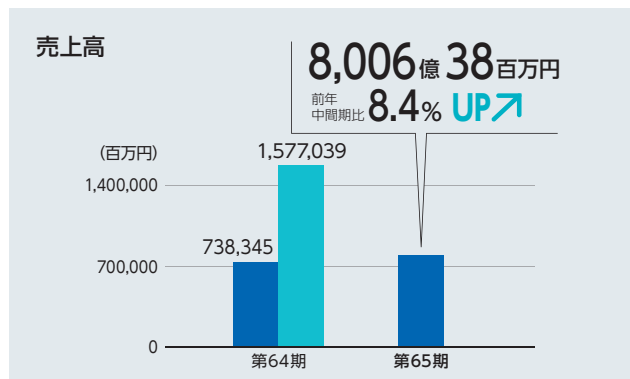
OCEAN GATE MINATO MIRAI
(1F・3F・5F・6F)

第65期中間期 業績ハイライト

当期より従来の米国会計基準に替えて国際財務報告基準(IFRS)を適用しています。
これに伴い、第64期の連結業績についてもIFRSに組み替えて表示しています。

連結業績の推移

■ 中間期 ■ 通期



産業・自動車用部品

産業機械や自動車市場向けに各種ファインセラミック部品やカメラモジュール、液晶ディスプレイを供給しています。また、切削工具や空圧・電動工具等の機械工具を一般産業や建築市場へ供給しています。

売上高 1,608億 7百万円 (前年中間期比22.7%増)

事業利益 212億50百万円 (前年中間期比49.8%増)



半導体製造装置用部品



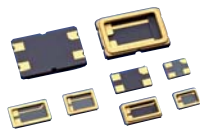
電動工具

半導体関連部品

電子部品やICを保護するパッケージ、及びそれらの部品を実装する高密度な有機多層ボードを、情報通信や自動車市場等へ供給しています。

売上高 1,274億69百万円 (前年中間期比 0.5%増)

事業利益 131億57百万円 (前年中間期比23.6%減)



電子デバイス用表面実装セラミックパッケージ



有機多層ボード

電子デバイス

スマートフォン等の身近な製品から産業機器まで、幅広い分野にさまざまな電子部品やデバイスを供給しています。

売上高 1,838億 3百万円 (前年中間期比33.9%増)

事業利益 338億17百万円 (前年中間期比57.4%増)



コンデンサ



インクジェットプリントヘッド

コミュニケーション

高耐久やシニア向け等の独自機能を搭載した通信端末に加え、IoTをサポートする通信モジュール、並びに通信基盤を支える情報通信サービスを提供しています。

売上高 1,148億71百万円 (前年中間期比 7.3%減)

事業利益 6億56百万円 (前年中間期比65.8%減)



スマートフォン



情報通信サービス

ドキュメントソリューション

環境性と経済性に優れたプリンターと複合機の幅広いラインアップに加え、お客さまが個々に抱えるドキュメント関連の課題を解決するドキュメントソリューションを提供しています。

売上高 1,787億69百万円 (前年中間期比3.9%増)

事業利益 199億78百万円 (前年中間期比0.7%増)



プリンター



複合機

生活・環境

ソーラーエネルギー関連製品や医療用製品、宝飾品、キッチングッズ等、生活・環境に関わる製品を供給しています。

売上高 408億 5百万円 (前年中間期比22.7%減)

事業利益 △63億98百万円 (前年中間期比58億6百万円減)



鳥取・米子メガソーラー発電所



キッチングッズ

連結財務諸表

当期より従来の米国会計基準に替えて国際財務報告基準 (IFRS) を適用しています。これに伴い、前期及び前年中間期の連結財務諸表についてもIFRSに組み替えて表示しています。

連結財政状態計算書

(単位: 百万円)

科目	前期 (2018年3月31日現在)	当中間期 (2018年9月30日現在)	科目	前期 (2018年3月31日現在)	当中間期 (2018年9月30日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	1,465,899	1,459,891	流動負債	419,387	427,566
現金及び現金同等物	424,938	398,436	営業債務及びその他の債務	216,685	212,946
短期投資	196,802	237,828	その他の金融負債	5,039	13,322
営業債権及びその他の債権	382,659	353,329	未払法人所得税等	19,436	21,761
その他の金融資産	12,996	7,995	未払費用	114,049	114,113
棚卸資産	364,875	372,942	引当金	32,302	31,674
その他の流動資産	83,629	89,361	その他の流動負債	31,876	33,750
非流動資産	1,662,914	1,862,925	非流動負債	296,127	333,752
負債性証券及び資本性証券	1,071,990	1,226,475	長期金融負債	7,370	8,875
持分法で会計処理 されている投資	3,874	4,555	退職給付に係る負債	29,112	29,088
その他の金融資産	15,681	17,056	繰延税金負債	220,950	256,805
有形固定資産	288,898	324,295	引当金	19,914	19,926
のれん	144,268	151,009	その他の非流動負債	18,781	19,058
無形資産	80,186	80,083	負債合計	715,514	761,318
繰越税金資産	41,370	41,680	(資本の部)		
その他の非流動資産	16,647	17,772	資本金	115,703	115,703
資産合計	3,128,813	3,322,816	資本剰余金	165,079	165,027
			利益剰余金	1,577,641	1,636,946
			その他の資本の構成要素	499,710	620,478
			自己株式	△32,342	△72,353
			親会社の所有者に帰属する持分合計	2,325,791	2,465,801
			非支配持分	87,508	95,697
			資本合計	2,413,299	2,561,498
			負債及び資本合計	3,128,813	3,322,816

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前年中間期 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当中間期 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	738,345	800,638
売上原価	532,666	571,337
売上総利益	205,679	229,301
販売費及び一般管理費	136,407	146,700
営業利益	69,272	82,601
金融収益	20,942	21,375
金融費用	361	406
為替換算差損益	150	329
持分法による投資損益	106	613
その他—純額	679	1,177
税引前中間利益	90,788	105,689
法人所得税費用	23,909	21,581
中間利益	66,879	84,108
中間利益の帰属		
親会社の所有者	63,441	78,394
非支配持分	3,438	5,714
中間利益	66,879	84,108
1株当たり情報		
親会社の所有者に帰属する中間利益		
— 基本的	172円53銭	216円15銭
— 希薄化後	172円47銭	216円04銭

連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

科目	前年中間期 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当中間期 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	90,996	125,952
投資活動による キャッシュ・フロー	△51,297	△99,165
財務活動による キャッシュ・フロー	△28,453	△63,633
現金及び現金同等物に 係る換算差額	5,218	10,344
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	16,464	△26,502
現金及び現金同等物の 期首残高	376,195	424,938
現金及び現金同等物の 期末残高	392,659	398,436

社 名 京セラ株式会社
 英文社名 KYOCERA Corporation
 本社所在地 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地
 設 立 1959年4月1日
 従業員数 連結77,406名 単独18,484名
 発行済株式総数 377,618,580株
 (うち自己株式数 15,863,520株)
 株 主 数 55,126名

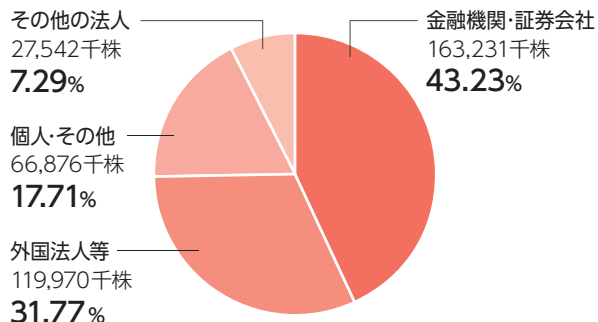
大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	50,005	13.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	25,808	7.13
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	18,106	5.00
株式会社京都銀行	14,436	3.99
稲盛 和夫	10,212	2.82
公益財団法人稲盛財団	9,360	2.59
ケイアイ興産株式会社	7,099	1.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	6,169	1.71
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	5,647	1.56
京セラ自社株投資会	5,548	1.53

注1) 持株数は千株未満を四捨五入して表示しています。

注2) 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況



取締役及び監査役

代表取締役会長	山口 悟 郎	取 締 役	神 野 純 一
代表取締役社長	谷 本 秀 夫	取 締 役	ジョン・サービス
取 締 役	石 井 健	取 締 役	ロバート・ウィスラー
取 締 役	触 浩	取締役(社外)	小野寺 正
取 締 役	伊 達 洋 司	取締役(社外)	溝 端 浩 人
取 締 役	伊 奈 憲 彦	取締役(社外)	青 山 敦
取 締 役	巖 島 圭 司	常勤監査役	原 田 斉
取 締 役	嘉 野 浩 市	監 査 役	西 枝 攻
取 締 役	青 木 昭 一	監査役(社外)	坂 田 均
取 締 役	佐 藤 隆	監査役(社外)	秋 山 正 明

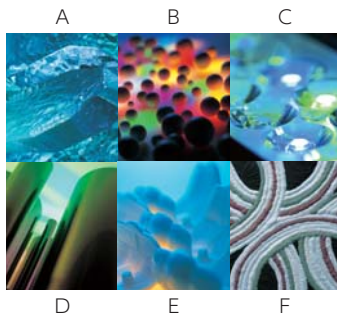
執行役員

執行役員社長	谷 本 秀 夫	執行役員	伊 藤 雅 章
執行役員専務	石 井 健	執行役員	工 藤 宏 哉
執行役員専務	触 浩	執行役員	飯 田 真 幸
執行役員専務	伊 達 洋 司	執行役員	酒 井 久 満
執行役員常務	伊 奈 憲 彦	執行役員	水 上 友 介
執行役員常務	巖 島 圭 司	執行役員	濱 野 太 洋
執行役員常務	嘉 野 浩 市	執行役員	小 澤 雅 明
執行役員常務	青 木 昭 一	執行役員	黒 瀬 善 仁
執行役員常務	佐 藤 隆	執行役員	林 正 樹
執行役員常務	神 野 純 一	執行役員	木 里 重 亮
執行役員上席	小 山 繁	執行役員	窪 田 明 仁
執行役員上席	稲 垣 正 祥	執行役員	品 川 直
執行役員	奥ノ園 隆 志	執行役員	長 島 千 里

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
株主確定の基準日	定時株主総会、期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
定時株主総会	6月
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ(https://www.kyocera.co.jp)に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
各種お問い合わせ先	電話番号 0120-094-777 (通話料無料) 〔 受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く) 〕 ホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/

株式に関するお手続きについて

1. 「住所変更」、「買取・買増請求」、「配当金の受取方法の指定」等の各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)でのお手続きが必要ですので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
2. 「郵便物の発送と返戻に関するご照会」、「未受領の配当金に関するご照会」及び「特別口座に記録された株式に関する各種お手続き」につきましては、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。



表紙の写真は、京セラの製品や原料を撮影したものです。

- A … 人工水晶
- B … アルミナセラミックスのボール
- C … 高演色LED
- D … アモルファスシリコン感光ドラム
- E … 人工膝関節
- F … ファインセラミックスの原料



京セラ株式会社

京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地 〒612-8501

電話: 075-604-3500 (大代表)

<https://www.kyocera.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

当報告書に記載の情報は2018年12月時点のものです。当報告書については、無断で複製、転載することを禁じます。

© 2018 KYOCERA Corporation